

質問(小池利雄議員)
 災害発生に備えた事前準備について伺います。

答弁(総合政策部長)
 市ではアルファ米を中心とした食料2万6108食を初め飲料水、毛布、ブルーシートなどを拠点となる避難所及び防災倉庫に備蓄しています。

また、東京都江東区など128の地方公共団体と災害時相互応援協定等を締結しており、東日本大震災の際には、多くの支援物資の提供をいただきました。

さらに、民間の22団体

支援物資供給の田滑センター
小池利雄 議員



子ども未来館つどいの広場トコトコ
 (トコトコ大田原3階)にある絵本

子ども未来館の読書推進センター
大豆生田 春美 議員

質問(大豆生田春美議員)
 未就学児の家庭での読み聞かせを推進していくべきと思いますが、考えを伺います。

答弁(教育長)
 本市では、10か月児相談時に絵本の読み聞かせと絵本のプレゼントを行っており、保護者から好評であることから読書のきっかけづくりの場として、この機会に家庭での読み聞かせを推進していきたいと考えています。

また、子ども未来館にある「つどいの広場トコトコ」に絵本を配置し、来館した親子が自由に

と協定を締結し、災害発生の際には物資供給による支援を受けることになっていきます。

食料の備蓄については、ご家庭でも最低3日分、可能であれば1週間分の食料品の備蓄をお願いしたいと考え、「広報おおたわら」6月号でお知らせをいたしました。



支援物資が備蓄してある防災倉庫(市役所)

絵本を楽しめるようにしています。

今後はこれらの事業の周知を図るとともに、図書館において読み聞かせの機会を増やすことなどを考えています。

さらに今年度は読書推進のための読み聞かせボランティア養成講座を3回開催する予定です。